

# Red Hat Enterprise Linux 7.6 に LifeKeeper for Linux v9.3.1 をインストールする際の既知の問題について

2019年2月5日

LifeKeeper for Linux (以下 LK) および Single Server Protection for Linux (以下 SSP) はバージョン v9.3.1 で Red Hat Enterprise Linux 7.6 (以下 RHEL7.6) をサポートします。しかし、インストールに関する既知の問題があるため、ご利用にあたっては本文書にある手順の実施をお願いいたします。

## 本文書の対象環境

LifeKeeper のバージョン : LK v9.3.1 および SSP v9.3.1  
オペレーティングシステム (以下 OS) : RHEL 7.6

## 対象 OS 利用時の既知の問題

LK および SSP v9.3.1 の RHEL7.6 へのインストールに関連し、以下の既知の問題があります。

- RHEL7.6 に含まれている rsyslog バージョンをご利用の場合、LifeKeeper インストール時に自動的に行われる LifeKeeper のログ出力の設定が正しく行われません。そのため手動で設定を追加する必要があります。
- setup スクリプトでは DataKeeper の動作に必要な HADR パッケージが正しくインストールされません。そのため手動でのインストールが必要です。

これらの問題に対応するため以下の手順の実施をお願いいたします。

その他の OS に起因する利用上の既知の問題や制限事項は、RHEL7.5 用に掲載されている情報に準じます。詳細は以下の URL にある情報をご確認ください。

既知の問題と制限

[http://jpdocs.us.sios.com/Linux/9.3.1/LK4L/TechDoc/Content/troubleshooting/known\\_issues\\_restrictions.htm](http://jpdocs.us.sios.com/Linux/9.3.1/LK4L/TechDoc/Content/troubleshooting/known_issues_restrictions.htm)

## インストール手順

- ① RHEL7.6 をインストールします。

インストールについての詳細は、以下のインストールガイドを参照してください。

SIOS Protection Suite for Linux 9.3.1 インストールガイド

<http://jpdocs.us.sios.com/Linux/9.3.1/LK4L/SPSInstall/index.htm>

- ② LifeKeeper 本体をインストールしてください。

インストールにはインストールイメージファイルに含まれる setup スクリプトを使用します。詳細につきましては、ユーザーサイトにある以下の資料を参照してください。

LifeKeeper for Linux スタートアップガイド (v9.3.1 用)

<http://lk.sios.com/?p=6808>

setup スクリプト完了時、以下のエラーメッセージが出力されます。

```
Important notice
It appears from the lack of information in /var/log/lifekeeper.log that
there may be configuration issues.
Please verify the syslog configuration settings.
```

これは LifeKeeper のログ出力の設定に問題があったことを表しています。次の手順で設定を変更し、このエラーに対応します。それ以外のエラーメッセージがないことを確認し、setup スクリプトでのインストールを終了してください。

- ③ LifeKeeper のログを出力できるように設定を変更します。

にログ出力の設定を追加するため、以下のコマンドを実行してください。

```
# echo -e "local6.*%t/var/log/lifekeeper.log" > /etc/rsyslog.d/lifekeeper.conf
```

- ④ 手順③の設定を反映させるため rsyslog を再起動します。

再起動方法は次の通りです。

```
# systemctl restart rsyslog.service
```

設定が反映されているかを確認するには、以下のコマンドを実行した後 /var/log/lifekeeper.log ファイルを確認し、指定した "log test message" というメッ

メッセージが追加されているかを確認してください。

```
# klogmsg -l INFO -s <server name> -a action -t app -i 999999 -- log
test message
```

DataKeeper をご利用でない場合には、ここまでの手順でインストールが完了です。

DataKeeper をご利用の場合には次の手順を実施してください。

- ⑤ DataKeeper を利用できるようにするため HADR パッケージを手動で入れ替えます。入れ替えには以下の手順を実施してください。

```
# rpm -e HADR-RHAS-3.10.0-all-9.2.1-6638.x86_64

# rpm -i <LKv9.3.1 インストールイメージ mount point >/RHAS/HADR-RHAS-
3.10.0-862.el7.x86_64-9.3.1-6750.x86_64.rpm
```

**注意 : DataKeeper を RHEL7.6 で使用する場合、非同期モードを使用することができません。これは前述の v9.3.1 の「既知の問題と制限」に記載されている RHEL7.5 での制限事項に準じています。**

LifeKeeper v9.3.1 を RHEL7.6 にインストールする手順は以上です。

### 問題が生じた場合の復旧について

LifeKeeper をアンインストール後に再度前述の手順①から実施してください。

以下のコマンドを実行することで LifeKeeper をアンインストールできます。

```
# /opt/LifeKeeper/bin/rmlk
```

その他何らかの問題が生じた場合には、ご契約のサポート窓口にお問い合わせください。

以上